

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【公表番号】特表2006-527724(P2006-527724A)

【公表日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2006-515942(P2006-515942)

【国際特許分類】

C 07 H 17/08 (2006.01)

A 01 N 43/90 (2006.01)

A 01 P 7/04 (2006.01)

【F I】

C 07 H 17/08 C S P L

A 01 N 43/90 101

A 01 P 7/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年3月25日(2011.3.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

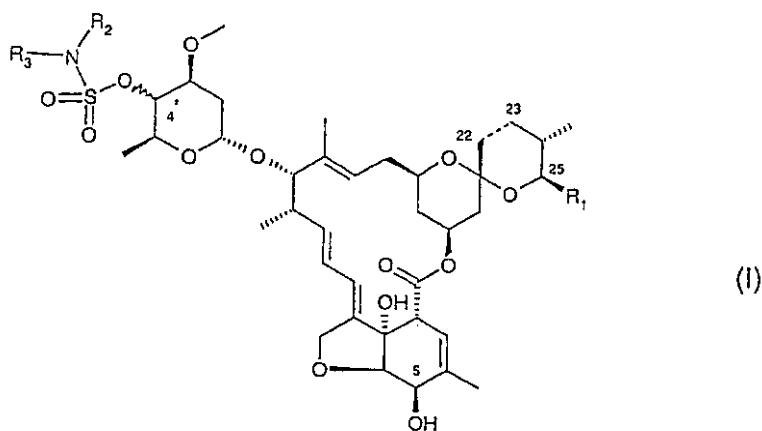
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次式：

【化1】



(式中、炭素原子22および23間の結合は単結合または二重結合であつてよく；

R₁は、C₁～C₁₂アルキル、C₃～C₈シクロアルキルまたはC₂～C₁₂アルケニルであり；

R₂およびR₃は、互いに独立して、水素、C₁～C₁₂アルキル、C₃～C₁₂シクロアルキル、

C₂～C₁₂アルケニル、C₂～C₁₂アルキニル、アリールまたはヘテロアリール；この場合、C₁～C₁₂アルキル、C₃～C₁₂シクロアルキル、C₂～C₁₂アルケニル、C₂～C₁₂ア

ルキニル、アリールおよびヘテロアリール基は非置換、または1～5置換されてよく；-C(=O)R₄またはSO₂R₄であり；あるいは

R₂およびR₃は一緒にになって、3～7員アルキレン架橋または4～7員アルケニレン架橋（ここで、アルキレンまたはアルケニレン中の1または2個のCH₂基はO、SまたはNR₅により置換されてよく）であるか；あるいは基=N⁺=N⁻であり；

そしてここで、R₂およびR₃下で定義されるアルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、シクロアルキル、アリールおよびヘテロアリール基の置換基は、OH；=O；SH；=S；-NH₂；CN；NO₂；ハロゲン；C₁～C₁₂アルキル；ハロ-C₁～C₂アルキル；C₁～C₁₂アルケニル；C₂～C₆アルキニル；C₃～C₈シクロアルキル（置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される）；ノルボルネニル；C₃～C₈シクロアルケニル（置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される）；C₃～C₈ハロシクロアルキル；C₁～C₁₂アルコキシ；C₁～C₆アルコキシ-C₁～C₆アルキル；C₁～C₆アルコキシ-C₁～C₆アルコキシ；C₁～C₆アルコキシ-C₁～C₆アルコキシ-C₁～C₆アルキル；C₂～C₁₂アルケニルオキシ；C₂～C₁₂アルケニルオキシ-C₁～C₆アルコキシ；C₃～C₈シクロアルコキシ；C₁～C₁₂ハロアルコキシ；C₁～C₁₂アルキルチオ；C₃～C₈シクロアルキルチオ；C₁～C₁₂ハロアルキルチオ；C₁～C₁₂アルキルスルフィニル；C₃～C₈シクロアルキルスルフィニル；C₁～C₁₂ハロアルキルスルフィニル；C₃～C₈シクロアルキルスルホニル；C₁～C₁₂ハロアルキルスルホニル；C₃～C₈ハロシクロアルキルスルホニル；C₂～C₈アルケニル；C₂～C₈アルキニル；-NH(C₁～C₆アルキル)；-N(C₁～C₆アルキル)₂；-C(=O)R₆；-NHCO(=O)R₇；-PO(=O)(OC₁～C₆アルキル)₂；アリール；ヘテロシクリル；アリールオキシ；およびヘテロシクリルオキシからなる群から選択され；

ここで、アリール、ヘテロシクリル、アリールオキシおよびヘテロシクリルオキシ基は置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、OH；ハロゲン；CN；NO₂；C₁～C₁₂アルキル；C₃～C₈シクロアルキル；C₁～C₁₂ハロアルキル；C₁～C₁₂アルコキシ；C₁～C₁₂ハロアルコキシ；C₁～C₁₂アルキルチオ；C₁～C₁₂ハロアルキルチオ；C₁～C₁₂アルキルスルフィニル；C₁～C₁₂アルキルスルホニル；C₁～C₆アルコキシ-C₁～C₆アルキル；ジメチルアミノ-C₁～C₆アルコキシ；C₂～C₈アルケニル；C₂～C₈アルキニル；フェニル-C₁～C₆アルキル；フェノキシ（置換されないかまたは互いに独立して、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシから選択される1～3個の置換基により置換される）；フェニル-C₁～C₆アルコキシ（置換されないかまたは、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシから互いに独立して選択される1～3個の置換基により芳香族環中で置換される）；フェニル-C₂～C₆アルケニル；フェニル-C₂～C₆アルキニル；メチレンジオキシ；-C(=O)R₆；-O-C(=O)R₇；-NH-C(=O)R₇；-NH₂；-NH(C₁～C₁₂アルキル)；-N(C₁～C₁₂アルキル)₂；C₁～C₆アルキルチオ；C₁～C₆アルキルスルフィニル；C₃～C₈シクロアルキルスルフィニル；C₁～C₆ハロアルキルスルフィニル；C₃～C₈ハロシクロアルキルスルフィニル；C₁～C₆アルキルスルホニル；C₃～C₈シクロアルキルスルホニル；C₁～C₆ハロアルキルスルホニル；およびC₃～C₈ハロシクロアルキルスルホニルからなる群から選択される置換基により1～5置換され；

R₄は、H；C₁～C₈アルキル；ハロゲン、ニトロ、C₁～C₈アルコキシ、アリールオキシ、OH、SH、-NH₂、-NH(C₁～C₁₂アルキル)および-N(C₁～C₁₂アルキル)₂からなる群から選択される置換基により1～7置換されるC₁～C₈アルキル；C₁～C₈アルコキシ；ハロ-C₁～C₈アルコキシ；C₃～C₈シクロアルキル；C₃～C₈シクロアルコキシ；C₂～C₈アルケニル；ハロ-C₂～C₈アルケニル；C₂～C₈アルケニルオキシ；ハロ-C₂～C₈アルケニルオキシ；C₂～C₈アルキニル；C₂～C₈アルキニルオキシ；-NH₂；-NH(C₁～C₁₂アルキル)；-N(C₁～C₁₂アルキル)₂；アリール；アリールオキシ；ベンジル；ベンジルオキシ；ヘテロシクリル；ヘテロシクリルオキシ；ヘテロシクリルメチル；ヘテロシクリルメトキシ；-NH-アリール；-NH-ヘテロシク

リル； - N (C₁ ~ C₆ アルキル) - アリール；または - N (C₁ ~ C₆ アルキル) - ヘテロシクリルであり；

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチル、ヘテロシクリルメトキシ、- NH - アリール、- NH - ヘテロシクリル、- N (C₁ ~ C₆ アルキル) - アリールおよび - N (C₁ ~ C₆ アルキル) - ヘテロシクリル基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₁ ~ C₁₂ ハロアルキル、C₁ ~ C₁₂ アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ ハロアルコキシ、C₁ ~ C₆ アルコキシ - C₁ ~ C₆ アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ アルキルチオ、C₁ ~ C₁₂ ハロアルキルチオ、C₁ ~ C₁₂ アルキルスルフィニル、C₁ ~ C₁₂ アルキルスルホニル、C₂ ~ C₈ アルケニルオキシ、C₂ ~ C₈ アルキニルオキシ、ニトロ、- N₃ およびシアノから選択される1~3個の置換基により置換される環中にあり；

R₅ は、C₁ ~ C₈ アルキル、C₃ ~ C₈ シクロアルキル、C₂ ~ C₈ アルケニル、C₂ ~ C₈ アルキニル、ベンジル、- C (= O) - R₈ または - C (= S) - R₈ であり；

R₆ は、H；OH；SH；C₁ ~ C₈ アルキル；ハロゲン、ニトロ、C₁ ~ C₈ アルコキシ、アリールオキシ、OH、SH、- NH₂、- NH (C₁ ~ C₁₂ アルキル) および - N (C₁ ~ C₁₂ アルキル)₂ からなる群から選択される置換基により1~7置換されるC₁ ~ C₈ アルキル；C₁ ~ C₈ アルコキシ；ハロ - C₁ ~ C₈ アルコキシ；C₃ ~ C₈ シクロアルキル；C₃ ~ C₈ シクロアルコキシ；C₂ ~ C₈ アルケニル；C₂ ~ C₈ アルケニルオキシ；C₂ ~ C₈ アルキニル；C₂ ~ C₈ アルキニルオキシ；- NH₂；- NH (C₁ ~ C₁₂ アルキル)；- N (C₁ ~ C₁₂ アルキル)₂；アリール；アリールオキシ；ベンジル；ベンジルオキシ；ヘテロシクリル；ヘテロシクリルオキシ；ヘテロシクリルメチル；またはヘテロシクリルメトキシであり；

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチルおよびヘテロシクリルメトキシ基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₁ ~ C₁₂ ハロアルキル、C₁ ~ C₁₂ アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ ハロアルコキシ、C₁ ~ C₆ アルコキシ - C₁ ~ C₆ アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ アルキルチオ、C₁ ~ C₁₂ ハロアルキルチオ、C₁ ~ C₁₂ アルキルスルフィニル、C₁ ~ C₁₂ アルキルスルホニル、C₂ ~ C₈ アルケニルオキシ、C₂ ~ C₈ アルキニルオキシ、ニトロ、- N₃ およびシアノから選択される1~3個の置換基により置換される；

R₇ は、H、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₁ ~ C₆ アルコキシ - C₁ ~ C₆ アルキル、C₁ ~ C₁₂ ハロアルキル、C₂ ~ C₈ アルケニル、C₂ ~ C₈ アルキニル、アリール、ヘテロシクリル、ベンジル、- NH₂、- NH (C₁ ~ C₁₂ アルキル)、- N (C₁ ~ C₁₂ アルキル)₂、- NH - フェニルまたは - N (C₁ ~ C₁₂ アルキル) - フェニルであり；

R₈ は、H、OH、SH、- NH₂、- NH (C₁ ~ C₁₂ アルキル)、- N (C₁ ~ C₁₂ アルキル)₂、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₁ ~ C₁₂ ハロアルキル、C₁ ~ C₁₂ アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ ハロアルコキシ、C₁ ~ C₆ アルコキシ - C₁ ~ C₆ アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ アルキルチオ、C₁ ~ C₁₂ アルキルスルフィニル、C₁ ~ C₁₂ アルキルスルホニル、C₂ ~ C₈ アルケニルオキシ、C₂ ~ C₈ アルキニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、- NH - フェニル、- N (C₁ ~ C₆ アルキル) - フェニル、- N (C₁ ~ C₆ アルキル)₂、- NH - C₁ ~ C₆ アルキル - C (= O) - R₉、- N (C₁ ~ C₆ アルキル) - C₁ ~ C₆ アルキル - C (= O) - R₉ またはフェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、- NH - フェニルまたは - N (C₁ ~ C₆ アルキル) - フェニル（その各々が、互いに独立して、ハロゲン、C₁ ~ C₆ アルコキシ、C₁ ~ C₆ ハロアルキルおよびC₁ ~ C₆ ハロアルコキシから選択される1~3個の置換基により芳香族環中で置換される）であり；

R₉ は、H、OH、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₁ ~ C₁₂ アルコキシ、C₁ ~ C₆ アルコキシ - C₁ ~ C₆ アルコキシ、C₂ ~ C₈ アルケニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、- NH₂、- NH (C₁ ~ C₁₂ アルキル)、- N (C₁ ~ C₁₂ アルキル)₂、- NH - フェニルまたは - N (C₁ ~ C₁₂ アルキル) - フェニルである）の化合物、そして適用可能な

場合には、各々の場合に遊離形態または塩形態の、E / Z異性体、E / Z異性体の混合物、ジアステレオマーおよび/または互変異性体。

【請求項2】

有効成分として請求項1記載の式(I)の少なくとも1つの化合物を、そして少なくとも1つのアジュバントを含む殺虫組成物。

【請求項3】

害虫の防除方法であって、請求項2記載の組成物を害虫またはそれらの生息環境に施用(ヒトへの施用を除く)することを包含する方法。

【請求項4】

請求項2記載の少なくとも1つのアジュバントを含む組成物の調製方法であって、有効成分をアジュバント(単数または複数)と均質に混合しおよび/または磨碎することを包含する方法。

【請求項5】

請求項2記載の組成物の調製における請求項1記載の式(I)の化合物の使用。

【請求項6】

害虫を防除するに際しての(ヒトへの使用を除く)請求項2記載の組成物の使用。

【請求項7】

植物繁殖物質の防除方法であって、繁殖物質または繁殖物質の植付け部位を請求項2記載の殺虫組成物で処理することを包含する方法。

【請求項8】

請求項7記載の方法に従って処理された植物繁殖物質。

【請求項9】

請求項2記載の殺虫組成物を含むタンクミックス組成物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0001

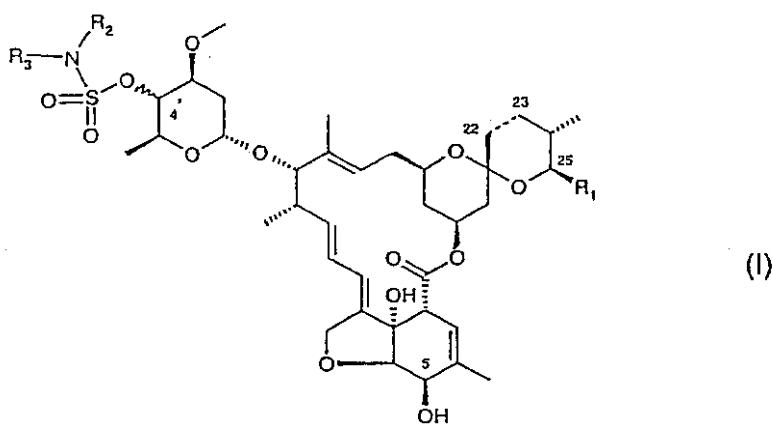
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0001】

本発明は、(1)次式:

【化1】



(式中、炭素原子22および23間の結合は単結合または二重結合であってよく;

R₁は、C₁～C₁₂アルキル、C₃～C₈シクロアルキルまたはC₂～C₁₂アルケニルであり;

R_2 および R_3 は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルケニル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルキニル、アリールまたはヘテロアリール（この場合、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルケニル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルキニル、アリールおよびヘテロアリール基は非置換、または1～5置換され得る）、 $-C(=O)R_4$ または $S O_2 R_4$ であり；あるいは

R_2 および R_3 は一緒にになって、3～7員アルキレン架橋または4～7員アルケニレン架橋（ここで、アルキレンまたはアルケニレン中の1または2個の CH_2 基はO、SまたはNR₅により置換されてよく）であるか；あるいは基=N⁺=N⁻であり；

そしてここで、 R_2 および R_3 下で定義されるアルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、シクロアルキル、アリールおよびヘテロアリール基の置換基は、OH；=O；SH；=S；-NH₂；CN；NO₂；ハロゲン； $C_1 \sim C_{12}$ アルキル；ハロ-C₁～C₂アルキル； $C_1 \sim C_{12}$ アルケニル； $C_2 \sim C_6$ アルキニル； $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル（置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される）；ノルボルネニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルケニル（置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される）； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキル； $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ-C₁～C₆アルキル； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ-C₁～C₆アルコキシ； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ-C₁～C₆アルコキシ-C₁～C₆アルキル； $C_2 \sim C_{12}$ アルケニルオキシ； $C_2 \sim C_{12}$ アルケニルオキシ-C₁～C₆アルコキシ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニル； $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニル；-NH(C₁～C₆アルキル)；-N(C₁～C₆アルキル)₂；-C(=O)R₆；-NHCO(=O)R₇；-PO(=O)(OC₁～C₆アルキル)₂；アリール；ヘテロシクリル；アリールオキシ；およびヘテロシクリルオキシからなる群から選択され；

ここで、アリール、ヘテロシクリル、アリールオキシおよびヘテロシクリルオキシ基は置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、OH；ハロゲン；CN；NO₂； $C_1 \sim C_{12}$ アルキル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル； $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ-C₁～C₆アルキル；ジメチルアミノ-C₁～C₆アルコキシ； $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニル；フェニル-C₁～C₆アルキル；フェノキシ（置換されないかまたは互いに独立して、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシから選択される1～3個の置換基により置換される）；フェニル-C₁～C₆アルコキシ（置換されないかまたは、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシから互いに独立して選択される1～3個の置換基により芳香族環中で置換される）；フェニル-C₂～C₆アルケニル；フェニル-C₂～C₆アルキニル；メチレンジオキシ；-C(=O)R₆；-O-C(=O)R₇；-NH-C(=O)R₇；-NH₂；-NH(C₁～C₁₂アルキル)；-N(C₁～C₁₂アルキル)₂； $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ； $C_1 \sim C_6$ アルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルホニル； $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルスルホニル；および $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニルからなる群から選択される置換基により1～5置換され；

R_4 は、H； $C_1 \sim C_8$ アルキル；ハロゲン、ニトロ、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ、アリールオキシ、OH、SH、-NH₂、-NH(C₁～C₁₂アルキル)および-N(C₁～C₁₂アルキル)₂からなる群から選択される置換基により1～7置換される $C_1 \sim C_8$ アルキル； $C_1 \sim C_8$ アルコキシ；ハロ-C₁～C₈アルコキシ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルコキシ； $C_2 \sim C_8$ アルケニル；ハロ-C₂～C₈アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ；ハロ-C₂～C₈アルケニルオキシ； $C_2 \sim C_8$ アルキニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニルオキシ；

- NH₂; - NH (C₁ ~ C₁₂アルキル); - N (C₁ ~ C₁₂アルキル)₂; アリール; アリールオキシ; ベンジル; ベンジルオキシ; ヘテロシクリル; ヘテロシクリルオキシ; ヘテロシクリルメチル; ヘテロシクリルメトキシ; - NH - アリール; - NH - ヘテロシクリル; - N (C₁ ~ C₆アルキル) - アリール; または - N (C₁ ~ C₆アルキル) - ヘテロシクリルであり;

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチル、ヘテロシクリルメトキシ、- NH - アリール、- NH - ヘテロシクリル、- N (C₁ ~ C₆アルキル) - アリールおよび - N (C₁ ~ C₆アルキル) - ヘテロシクリル基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、C₁ ~ C₁₂アルキル、C₁ ~ C₁₂ハロアルキル、C₁ ~ C₁₂アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ハロアルコキシ、C₁ ~ C₆アルコキシ - C₁ ~ C₆アルコキシ、C₁ ~ C₁₂アルキルチオ、C₁ ~ C₁₂ハロアルキルチオ、C₁ ~ C₁₂アルキルスルフィニル、C₁ ~ C₁₂アルキルスルホニル、C₂ ~ C₈アルケニルオキシ、C₂ ~ C₈アルキニルオキシ、ニトロ、- N₃およびシアノから選択される1~3個の置換基により置換される環中にあり；

R₅は、C₁ ~ C₈アルキル、C₃ ~ C₈シクロアルキル、C₂ ~ C₈アルケニル、C₂ ~ C₈アルキニル、ベンジル、- C (= O) - R₈または - C (= S) - R₈であり；

R₆は、H; OH; SH; C₁ ~ C₈アルキル; ハロゲン、ニトロ、C₁ ~ C₈アルコキシ、アリールオキシ、OH、SH、- NH₂、- NH (C₁ ~ C₁₂アルキル) および - N (C₁ ~ C₁₂アルキル)₂からなる群から選択される置換基により1~7置換されるC₁ ~ C₈アルキル; C₁ ~ C₈アルコキシ; ハロ - C₁ ~ C₈アルコキシ; C₃ ~ C₈シクロアルキル; C₃ ~ C₈シクロアルコキシ; C₂ ~ C₈アルケニル; C₂ ~ C₈アルケニルオキシ; C₂ ~ C₈アルキニル; C₂ ~ C₈アルキニルオキシ; - NH₂; - NH (C₁ ~ C₁₂アルキル); - N (C₁ ~ C₁₂アルキル)₂; アリール; アリールオキシ; ベンジル; ベンジルオキシ; ヘテロシクリル; ヘテロシクリルオキシ; ヘテロシクリルメチル; またはヘテロシクリルメトキシであり；

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチルおよびヘテロシクリルメトキシ基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、C₁ ~ C₁₂アルキル、C₁ ~ C₁₂ハロアルキル、C₁ ~ C₁₂アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ハロアルコキシ、C₁ ~ C₆アルコキシ - C₁ ~ C₆アルコキシ、C₁ ~ C₁₂アルキルチオ、C₁ ~ C₁₂ハロアルキルチオ、C₁ ~ C₁₂アルキルスルフィニル、C₁ ~ C₁₂アルキルスルホニル、C₂ ~ C₈アルケニルオキシ、C₂ ~ C₈アルキニルオキシ、ニトロ、- N₃およびシアノから選択される1~3個の置換基により置換される；

R₇は、H、C₁ ~ C₁₂アルキル、C₁ ~ C₆アルコキシ - C₁ ~ C₆アルキル、C₁ ~ C₁₂ハロアルキル、C₂ ~ C₈アルケニル、C₂ ~ C₈アルキニル、アリール、ヘテロシクリル、ベンジル、- NH₂、- NH (C₁ ~ C₁₂アルキル)、- N (C₁ ~ C₁₂アルキル)₂、- NH - フェニルまたは - N (C₁ ~ C₁₂アルキル) - フェニルであり；

R₈は、H、OH、SH、- NH₂、- NH (C₁ ~ C₁₂アルキル)、- N (C₁ ~ C₁₂アルキル)₂、C₁ ~ C₁₂アルキル、C₁ ~ C₁₂ハロアルキル、C₁ ~ C₁₂アルコキシ、C₁ ~ C₁₂ハロアルコキシ、C₁ ~ C₆アルコキシ - C₁ ~ C₆アルキル、C₁ ~ C₆アルコキシ - C₁ ~ C₆アルコキシ、C₁ ~ C₁₂アルキルチオ、C₁ ~ C₁₂アルキルスルフィニル、C₁ ~ C₁₂アルキルスルホニル、C₂ ~ C₈アルケニルオキシ、C₂ ~ C₈アルキニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、- NH - フェニル、- N (C₁ ~ C₆アルキル) - フェニル、- NH - C₁ ~ C₆アルキル - C (= O) - R₉、- N (C₁ ~ C₆アルキル) - C₁ ~ C₆アルキル - C (= O) - R₉またはフェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、- NH - フェニルまたは - N (C₁ ~ C₆アルキル) - フェニル（その各々が、互いに独立して、ハロゲン、C₁ ~ C₆アルコキシ、C₁ ~ C₆ハロアルキルおよびC₁ ~ C₆ハロアルコキシから選択される1~3個の置換基により芳香族環中で置換される）であり；

R₉は、H、OH、C₁ ~ C₁₂アルキル、C₁ ~ C₁₂アルコキシ、C₁ ~ C₆アルコキシ - C₁

~ C₆アルコキシ、C₂~C₈アルケニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、-NH₂、-NH(C₁~C₁₂アルキル)、-N(C₁~C₁₂アルキル)₂、-NH-フェニルまたは-N(C₁~C₁₂アルキル)-フェニルである)

の化合物に、そして適用可能な場合には、各々の場合に遊離形態でまたは塩形態で、E/Z異性体、E/Z異性体の混合物、ジアステレオマーおよび/または互変異性体に；その化合物並びにそれらの異性体及び互変異性体の調製方法に、そして使用に；式(I)の化合物の調製のための出発原料に；有効成分が式(I)の化合物およびそれらの互変異性体から選択された殺虫組成物に；ならびにその組成物を用いた害虫の防除方法に関する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0149

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0149】

本発明は、殺虫およびタンクミックス組成物の施用方法に、即ち上記の種類の害虫の防除方法、例えば噴霧、霧化、散布、コーティング、ドレッシング、飛散または注ぎ込み(これらは意図された目的および優勢な環境に従って選択される)に、ならびに上記の種類の害虫の防除のための組成物の使用にも関する。濃度の典型的比率は、0.1~1000 ppm、好ましくは0.1~500 ppmの有効成分である。施用率/ヘクタールは、一般に1~2000 gの有効成分/ヘクタール、特に10~1000 g/ha、好ましくは20~600 g/ha、最も好ましくは20~100 g/haである。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0151

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0151】

殺虫およびタンクミックス組成物は、植物繁殖物質、例えば種子、例えば果実、塊茎または穀粒、あるいは植物裁断片を動物害虫に対して防御するのにも適している。繁殖物質は、植付け前に組成物で処理され得る：例えば種子は、播種される前にドレッシングされ得る。本発明の有効成分は、液体処方物中に種子を含浸することにより、またはそれらを固体処方物でコーティングすることにより、穀粒(コーティング)にも施用され得る。組成物は、繁殖物質が、例えば播種中に種子畝に植え付けられるものである場合、植付け部位にも施用され得る。本発明は、植物繁殖物質のこのような処理方法に、そしてそのように処理された植物繁殖物質にも関する。